

JATA26-006

2026年5月28日

サステナブルな旅を通して海外旅行の促進と機運醸成へ 日本旅行業協会 アウトバウンド促進協議会 2026年度 オーストラリア・パラオ アウトバウンド拡大施策

一般社団法人日本旅行業協会（以下 JATA）では、アウトバウンド促進協議会（JOTC※1）オセアニア・大洋州部会（部会長：秋山秀之部会長 日本旅行取締役兼常務執行役員）にて、2024年度からの継続的な活動として、サステナブルな旅行提案による送客拡大への取り組みをおこなっています。2025年度はオーストラリア政府観光局の賛同及びクイーンズランド州政府観光局、西オーストラリア州政府観光局協力のもと、SDGs への取り組み参加による、オーストラリアへの送客増を目的とした、部会参加旅行会社共同でのアウトバウンド拡大施策を実施いたしました。2026年度はその取り組みを更に深化させると共に、新たなディスティネーションとしてパラオ共和国でのサステナブルな取り組みへの参加をおこなって参ります。

記

1. 2025年度活動の報告

2025年度は以下の取り組みを実施しました。

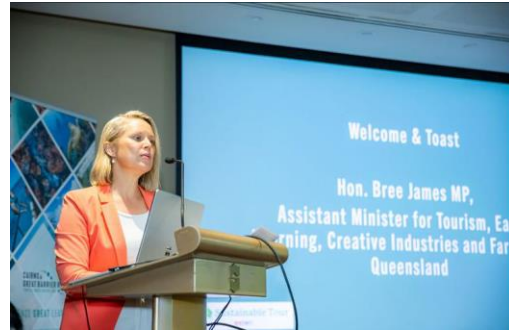
(1) 個人 WG（企画商品施策）

オーストラリア国内でサステナブルな取り組みをおこなっているコンテンツを含むツアーに参加することで、サステナブルな取り組みを支援できるという商品の造成・販売を、参画旅行会社共通の取り組みとして実施しました。具体的には、2025年11月1日（土）～2026年3月31日（火）の期間に販売される参画旅行会社の募集型企画旅行の中で、グレートバリアリーフ（ケアンズ）、ブルーマウンテンズ（シドニー）、ロットネスト島（パース）を訪れる商品に共通のロゴマークを掲示し、お客様にご参加いただくことでサステナブルな取り組みをしている施設へのドネーションができ、参加意識およびその価値を高める内容としました。

- 参画旅行会社：ANA X、エイチ・アイ・エス、JTB、日本旅行、阪急交通社、読売旅行の6社
- ドネーション額：AS\$5,000（総額）
- ドネーション先：Resilient Reefs Foundation ※

3月20日（金）シャングリラホテルケアンズにおいて、クイーンズランド州政府 観光・幼児教育・クリエイティブ産業・ファーノース・クイーンズランド担当副大臣のブリー・ジェームズ閣下、在ブリスベン総領事館ケアンズ事務所の東本（ヒガシモト）所長ご出席の下、ドネーション贈呈式が開催され、Resilient Reefs Foundation のロブ・ジアソン会長へ JOTC オセアニア大洋州部会秋山部会長より贈呈をいたしました。

※Resilient Reefs Foundation は、グレートバリアリーフ北部 3 分の 1 に影響を与えた大規模なサンゴの白化現象に対応するため、2017 年にリーフ・レストレーション・ファンデーションとして設立され、回復力強化プログラムは、サンゴの白化現象の頻度、深刻度、および地理的範囲の拡大に対処することで、有性生殖と自然との共生を目指して活動している団体です。



実施協力・写真提供：クイーンズランド州政府観光局・ケアンズ観光局

(2) 法人 WG (団体施策)

2026 年度以降の実施を対象とし、参画旅行会社によるサステナブルな団体旅行実現に向けた提案が可能となるよう、JOTC オセアニア・大洋州部会として 2025 年度末までに作成した企画を含んだ提案書を参画旅行会社が活用し、企業・学校が社会貢献活動を活用した旅行先としてオーストラリアを選ぶ動機付けとなるようサポートする。

●対象企画 (1)：企画テーマに基づいた団体向けコンテンツの提案

Green Key や Green Globe など世界的な認証機関に認証されている宿泊施設やサステナブルな取り組みをおこなっている観光施設などの情報を、参画旅行会社で共有しスタンダード認証しました。

●対象企画 (2)：環境に配慮した MICE 等団体旅行の実現に向け、オーストラリアの排出管理削減基金を通じてクリーンエネルギー局より発行される、カーボンクレジットである「Australian Carbon Credit Unit (ACCU)」のクレジットを購入し事業を展開している Reforest 社と契約し、当該企業・団体のプラットフォームを活用した植樹プログラムによる森林再生プロジェクトに参加し、苗木を購入やクレジットでのオフセットをすることで、オーストラリア全土への旅行を対象としたカーボンオフセットツアーの実現できるよう取り組みを行いました。

3月20日(金)ケアンズ観光局会議室において Reforest 社ダニエル代表、JOTC オセアニア大洋州部会秋山部会長にて 2026 年 4 月より実施する「カーボンオフセットプログラム」の契約書への署名を実施し、2026 年 4 月より同プログラムで、参画旅行会社が植林やカーボンオフセットを実施する企画を顧客企業等に提案し、顧客が SDGs な取り組みに参加できるようにしました。



実施協力・写真提供：クイーンズランド州政府観光局・ケアンズ観光局

2. 2026 年度施策の内容

2026 年度は 2025 年度での活動を踏まえ、オーストラリアにおいてサステナブルな取り組みに寄与できる企画商品施策の更なる充実と団体施策である「カーボンオフセットプログラム」の実装を図っていきます。また、新たなディステーションとして、2025 年 10 月より直行便が就航し注目を集めている大洋州の島国パラオ共和国でのサステナブルな取り組みをパラオ政府観光局と共同で実施いたします。社会貢献活動への参加による旅の価値向上を目指し、サステナブル先進国であるオーストラリアと環境重要国であるパラオへの送客を拡大してまいります。

(1) オーストラリア企画商品施策

①サステナブル対象ツアーの造成

オーストラリア国内でサステナブルな取り組みをおこなっている対象コンテンツを更に拡充し、そのコンテンツを含むツアーに参加することで、サステナブルな取り組みを支援できるという商品の造成・販売を、参画旅行会社共通の取り組みとして継続して実施します。該当の商品には引き続き共通のロゴマークを掲示し、お客様にご参加いただくことでサステナブルな取り組みをしている施設へのドネーションができ、参加意識を高めることができるようにします。また、実施期間を 2028 年 3 月までとすることで、継続的な取り組みとして実施できるよう取り組みます。

- 対象期間：2026 年 10 月 1 日（木）～2028 年 3 月 31 日（金）の期間に販売される参画旅行会社の募集型企画旅行
- 商品条件：企画商品で以下の対象コンテンツを日程に含み、共通ロゴマークが記載された商品
 - ・グレートバリアリーフ（ケアンズ）
 - ・カランビン・ワイルドライフ自然保護区（ゴールドコースト）
 - ・ブルーマウンテンズ（シドニー）
 - ・フィリップ島自然公園（メルボルン）
 - ・ロットネスト島（パース）
- 参画旅行会社（予定）：ANA X、エイチ・アイ・エス、クラブツーリズム、JTB、ジャルパック
東武トップツアーズ、日本旅行、阪急交通社、読売旅行
- 寄付内容：ドネーションは各社の送客に対して一定額を設定の上、合計額をサステナブルな取り組みをおこなっている団体・施設に寄付する。寄付時期は 2027 年 3 月・9 月、2028 年 3 月の 3 回を想定。寄付団体については、現在選定中。

②Reforest 社との「カーボンオフセットプログラム」を活用したオーストラリア全土での取り組み

①での対象ツアー以外に、法人 WG で取り組みを開始する Reforest 社との「カーボンオフセットプログラム」を活用した個人旅行での実現に向けて、2027 年度より開始できるよう 2026 年度での必要な準備を行います。（詳細については以下（2）オーストラリア団体施策の項目をご覧ください）

(2) オーストラリア団体施策

オーストラリアのカーボンクレジットである ACCU（Australian Carbon Credit Unit）の購入を、既にクレジット購入を事業としておこなっている Reforest 社のプラットフォームを活用した植樹による森林再生プロジェクトに参加することで実現し、カーボンオフセットの旅行を提案し実施することで、お客様の企業価値・CSR の向上につなげると共に、オーストラリアへの送客を図ることを目的としています。プログラムの詳細は別紙資料を参照ください。

- 対象期間：2026年6月1日（月）～以降提案される受注型企画旅行
- 参画旅行会社：本プログラムは、当面部会メンバーである6社で試験的な運用を行った後、2026年度中には、希望する会員企業すべてがJATAに申込をすることでReforest社の植樹プログラムに参加することが可能となるよう取り組みを進め、本プログラムを活用した企画提案を顧客におこなうことができるものとしていく予定です。
- 2026年度目標：本プログラムを実施するにあたり、オーストラリアへの旅行によるCO2排出量に対し、「JATAが目指す『責任ある観光』と目標にすること」として以下の通り設定することといたします。

JATAが目指す「責任ある観光」と目標



- 参画旅行会社（当初予定）：エイチ・アイ・エス、近畿日本ツーリスト、JTB、東武トップツアーズ
日本旅行、阪急交通社

(3) 共通ロゴマーク

本施策に関連する商品・企画書に共通のロゴマークの掲示を行います。

対象期間（企画商品施策・団体施策共通）

企画商品施策：商品条件にかなう2028年3月31日までに販売される商品を対象とする。

団体施策：対象企画を含む2028年3月31日までに提案される企画書を対象とする。



(4) <新規> パラオでのサステナブルな旅への取り組み

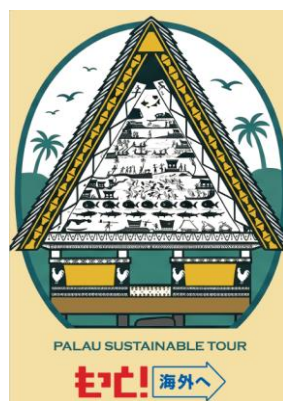
2025年10月より直行便が就航し注目を集めている大洋州の島国パラオ共和国でのサステナブルな取り組みをパラオ政府観光局と共同で実施いたします。パラオ共和国は西大西洋のミクロネシア地域に浮かぶ500以上の島々からなる国で、16ある州にはそれぞれ文化が根付き独自の魅力があります。また、世界の水中七不思議のひとつとして知られ、見事な海洋生態系を誇っています。

パラオ入国時には、航空券に組み込まれる形で「プリスティン・パラダイス環境税（PPEF）」として1名

あたり 100 米ドルが徴収していることに加え、「パラオ・プレッジ」と呼ばれる誓約書がパスポートにスタンプされ、そこに署名をすることで、環境保護への誓約となる、世界初のユニークな取り組みがおこなわれています。そこには、パラオの子どもたちのために自然環境を約束することで、主体的に環境保護への参加ができます。「観光」と「保護」をどう両立させるか？サステナブル・ツーリズムの最前線を肌で感じることができます。

このような、環境保護に積極的に取り組んでいるパラオでのサステナブルな旅行への取り組みを、パラオ政府観光局（PVA）と連携して実施することにいたしました。

- 対象期間：2026 年度期中で取り組みが開始出来次第～（開始日が決定いたしましたら改めて発表いたします。
- 対象商品：募集型企画旅行・受注型企画旅行
- コンテンツ：2つの大きなテーマを基に、JATA 独自でのコンテンツを今後パラオ政府観光局（PVA）と共同で開発してまいります。
 - ① 自然・環境保護に関するテーマ
 - ② 文化・平和に関するテーマ
- 参画旅行会社：本プログラムは、当面部会メンバーである5社※で試験的な運用を行った後、2027 年度中には、希望する会員企業参加できるよう、取り組みおこなっていく予定です。
※部会メンバー5社：エイチ・アイ・エス、クラブツーリズム、JTB、日本旅行、阪急交通社
- パラオでのサステナブルな取り組みは、JOTC 教育旅行部会と共同で実施いたします。JOTC 教育旅行部会での取り組みについては別途ご案内させていただきます。
- サステナブル ロゴマークの制定：本プログラムを実施するにあたり、パラオ政府観光局（PVA）と共同でサステナブル ロゴマークを設定し、該当の商品や提案書面への掲示をおこないます（JOTC 教育旅行部会と共同）。



以上

* 1) JATA アウトバウンド促進協議会について

JATA 海外旅行推進部が事務局運営を行い、観光局、航空会社、旅行会社、空港会社、大使館等から横断的に構成され、アウトバウンド（海外旅行）を促進するための様々な取り組みを行う組織です。7つの部会があり、それぞれがテーマを持って取り組んでいます。

本事業に関するお問い合わせ先

JATA 海外旅行推進部：大久保 h-okubo@jata-net.or.jp

TEL 03-3592-1274

報道関係の方からのお問い合わせ先

JATA 広報部：桑名・深谷

TEL 03-3592-1244

JATAカーボンオフセットプログラム（概略図）

法人旅行・教育旅行 お客様

JATAが目指す「責任ある観光」と目標

ケアンズ3泊5日
エコノミークラス利用
500名相当分 CO2量

約1,000トン

2026年までにオーストラリアへの旅行によるCO2排出量を削減目標

オーストラリアにおける
自然保護活動への
直接的な貢献

エコツーリズムの
強力な推進

「インパクト（地域への
還元）」を組み込んだ
新しい旅行商品の創出

単なる旅行から、現地の環境を「再生」する旅行へのシフト。

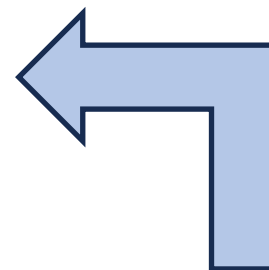
© NotebookLM



JATA会員会社



Reforest



サステナブル証明書
「今年の中でkgのCO2を削減し、地域の生態系に貢献しました」というデジタル証明書を発行。自社HPやSNSでのシェア（PR）に最適。

専用ダッシュボードでの可視化

透明性を確保するダッシュボード機能（リアルタイム可視化）



組織向けのインパクトレポート（CO2削減量、生物多様性保護の進捗）の発行により、確実なトレーサビリティを提供。

解決策：クライメートテック企業「Reforest」とは

ブリスベンを拠点とする気候変動対策特化型テクノロジー企業。「再生型経済（Regenerative Economy）」の構築。すべての取引が地球にプラスの影響を与える世界へ。



1. 高品質なネイティブ（自生種）再生プロジェクトの厳選

2. リアルタイムでのインパクト可視化（ダッシュボード）

3. 顧客体験へのシームレスな統合（旅行プランへの組み込み）



オーストラリア国内の厳選された山林で植林をおこないCO2のオフセットを実施